竹田キャンパス通信

夏、秋と季節的に合宿、交流会、地域イベントなど竹田キャンパスもいろいろと利用機会が増えています。その中で、夏合宿としてプロダクトデザインのゼミ合宿が行われました。24時間フルに頭を使ってのデザインスケッチ。こういった授業もこの場所でしかできない事なんだなと感銘を受けました。学生たちにも貴重な授業です。遊びにしろ、勉強にしろ、この竹田キャンパスでしかできない取り組みを、どんどん行ってもらえればと思います。

冬場にさしかかると、こちらも結構寒くなり、なかなか学生たちが訪れる機会も減ってきますが、冬は冬で星も綺麗ですし季節感を感じられヨイものです。温泉も気持ちのヨイ時期ですし、どうぞみなさん遊びに来てください。

※竹田キャンパスは、廃校となっていた下竹田小学校（竹田市直入町）を利用して、地域と密着したさまざまなアート活動を行っています。

玉井ゼミ宿泊合宿

毎年恒例の合宿。遊んで、勉強してのびのびとしている学生たちを見ていると、こちらも楽しい気持ちになります。朝早くから炭火で魚を焼いて食べたり、学生はみんな元気なもので、羨ましく思います。

第2回 フェアツーリズム国際大会

廃校利用策を探る試みとして、竹田キャンパスの活用状況について視察団が来訪、現状報告や意見交換、染色体験で交流しました。大学を母体とした廃校再生は例が無く、興味深く視察していました。

佐世保アートマーケット

長崎県佐世保市の広瀬公園にて開催されたアートイベントに参加しました。今回の出展者は佐世保の人がほとんどで、佐世保のアートと大分のアートの話ができてとても勉強になりました。

道ばたコロリのみの市

宮崎県日向市、日向駅高架下にてハンドメイド雑貨イベントに参加しました。あいにく台風の影響で最初は雨風が酷く客足が心配でしたが、思った以上に多くの方が訪れてくれ、楽しんでいました。

生きがいサロン エコバッグ作り

竹田市にある「生きがいサロン玉来分館と城原分館にておじいちゃん、おばあちゃんのエコバッグ作り体験を開催しました。みなさん、ワイワイ楽しみながら素敵なバッグを作ってくれました。

今後のイベント予定 ●「第8回 竹田キャンパス地域交流会」12月

たけたみつけようサークルが長湯温泉を取材

自発的に竹田を取材・情報発信する試みを"たけたみつけようサークル"と名付け活動！長湯温泉にも取材に訪れました。

サービスラーニング報告

「大学で学んだことを地域で活かし、地域で活動することで学びの意義を知る」ことを目的としたサービスラーニング。"単なるボランティア"では終わらない、自主性・論理性・協調性のある"社会人力"を育成するプログラムを組んでいます。今回の報告のほかにも様々な活動を行っています。詳細は、情報コミュニケーション学科HPをご覧下さい。

森林セラピーで高崎山・銭瓶峠・柞原神社などを取材

大分市が行う「森林セラピー事業」の情報発信のお手伝いとして、高崎山・銭瓶峠などを取材、情報収集を行いました。

第87回あしなが学生募金に参加

今回の募金は、災害や病気・自死によって親を失ったり重度の障害で働けなくなった遺児たちの奨学金として使用しました。

おおいた夢色音楽祭に参加しました

毎年恒例「おおいた夢色音楽祭」に今年も参加。MC（進行役・司会）や運営ボランティアとして大いに活躍しました。

「おいなりさんが舞いコンだ!」に参加

大正始め頃に竹田市に伝わってきた祭り「おいなりさんが舞いコンだ!」が復活したということで、取材を行いました。

学内ギャラリー 9月~11月

本学 美術科の学生による作品を展示。学内ギャラリーは、午前9時から午後6時まで一般公開しています。学外からお越しの際は、大学事務局にお声掛けください。

土と歩む
10月16日~22日

美術科デザイン専攻2年 岩本睦未、葛城健太、仲林真麻／専攻科造形専攻1年 江島成人、川合風望／専攻科造形専攻2年 猪頭佑衣

three types
10月8日~15日

美術科デザイン専攻2年 高橋若菜、丸山愛、柿元優季

46億年の記憶
10月1日~7日

美術科デザイン専攻2年 平川雅英

どこそこにあふれでる立場
9月25日~30日

専攻科造形専攻2年 東郷美佳

絵の具の形
11月18日~25日

美術科美術専攻2年 脇田好恵

birth
11月7日~13日

美術科美術専攻2年 梅木晓帆

ぷろだくと
10月30日~11月6日

美術科デザイン専攻 生活造形2年

ひかりのかたち
10月23日~29日

美術科デザイン専攻2年 「インテリアデザイン」受講生

学友会情報

こんにちは、学友会です。10月の18~20日（18日は前夜祭）に、本校最大のイベント「芸短祭~雨模様でしたが、歌あり、踊りあり、演奏あり、パフォーマンスあり、出店ありと、とても楽しい"爆発~」を開催しました！ お天気はあいにくの発、した3日間でした。今後も、クリスマスパーティや卒業パーティなど、楽しいコトを企画していきます。よろしくお願いします！

日々是精進

学生のアイデア溢れる作品や企画が賞を受賞。デザイン化や実現されたものも！

●「2014年度ミス日本」九州代表に決定

国際文化学科2年近藤祐加さんが来年度の「ミス日本コンテスト」九州代表に選ばれました。来年1月に東京で開催される最終審査に出場します。

●「寄付金付きボールペン」をデザイン

専攻科造形専攻と美術科デザイン専攻の学生がゼブラ株式会社とコラボして寄付金付きボールペンを制作。

●「おおいた教育の日エッセー」優秀賞受賞

「おおいた教育の日エッセー」で、情報コミュニケーション学科1年 工藤明日香さんが優秀賞を受賞しました。

●「パッケージデザインコンベンション」特別賞受賞

日本パッケージデザイン展2013とやま「パッケージデザインコンベンション」で、美術科2年 丸山愛さんが特別賞を受賞しました。

●音楽科コンクール

【第67回全日本学生音楽コンクール北九州大会本選2位】齊藤芙友子（声楽・専1年）・須山恵理香（声楽・専1年）【第62回南日本音楽コンクール入選】吉元優喜乃（ピアノ・専1年）【第1回九州新聞社ピアノコンクール第2次予選】〈福岡予選・準グランプリ〉姫野華奈（専1年）、〈佐賀予選・最優秀賞〉古賀奈津美（短1年）、〈福岡予選・最優秀賞〉樋野涼加（短1年）【ヴェルデ音楽コンクールアンサンブル賞受賞】佐藤蘭二（管弦打・専1年）・坂本董（演奏員）・小松あずみ（演奏員）【宮日音楽コンクール入選】大上栞里（管弦打・短1年）・小渕真実（管弦打・短1年）【滝廉太郎記念コンクール作曲・大学の部第1位】山田もみじ（短1年）

表紙の顔

本広報誌のモデルは、各学科から"頑張っている学生さん"に登場してもらっています。今回は、車いす陸上競技界のプロアスリート・廣道純選手に特別参加して頂きました。学生モデルは、国際文化学科2年生の木薮守さん、河野由芽さん、出口英さんです。3人は、10月に開催された「第33回大分国際車いすマラソン大会」でボランティアスタッフとして活躍しました。5~6ページの廣道純選手インタビューも担当していますので、ぜひご覧ください。

学長コラム

佳境を迎えた芸短フェスタ

中山 欽吾

似顔絵：学長秘書 佐々木優季

先号で述べたように、今年の特徴は「本学の学生たちの活動分野が広がり続けているのが実感できる内容」になったことです。私が着任した際に掲げた「小さくてもキラキラ輝く宝石のような大学になろう」という目標はすでに実現していますが、5年後の今年はその輝きが更に強くなったと実感しています。

各学科とも、学外活動は大幅に増えています。大学の外では、不況、少子化、要介護老人の増加、都市への人口集中と過疎問題など、大きな社会変化が訪れており、大学も聖域ではあり得ません。社会の波を自分なりに受け止めて、それに向かって自分をどう生かしていくのかが問われるのです。回避するのではなく「どうすればその波に乗れるのか」と考え、行動することが大切です。今回の芸短フェスタから感じる「何か」は、その行動力が活動の中身に変化を与えている、ということではないでしょうか。

皆さんと同じ体験をするために、行事に参加するように努めています。全部という訳には行かないのですが、音楽科による定期演奏会と美術科による「Ｉｄｅａｌ Ｐｉｃｔｕｒｅ」は、数年前には考えられなかった内容でした。また、国際総合学科による「国際理解」は、海に囲まれた狭い国土しかない我が国にとって、努力してでも獲得すべき経験なのですが、「国際理解ワークショップ」や「車いすマラソン」での交流を通じて、まさにこの主旨を実践した価値ある活動でした。情コミュも平素から継続して竹田地域などで地元の皆さんと交流を続けており、市内商店街の活性化なども成果を挙げつつあります。

この勢いをエネルギーに、スパートを掛けようではありませんか。